

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	宮城県	代表者名	知事 村井 嘉浩		
担当者部署	総務部	連絡先電話番号	022-211-2333		
担当者役職	主事	担当者氏名	山田 修雅	連絡先E-mail	
住所	980-8570 宮城県仙台市青葉区本町三丁目8番1号				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	村越 功司
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	市町村担当者に向けた講演を行っていただいたが、当方が求めていた資料、講演内容となっていたことや、ご自身が当時抱えていた思いや経験談など細かく講演いただき、大変わかりやすく参考となる内容だった。
アドバイザーへの要望事項	特になし

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（応募依頼より）	支援内容（応募依頼より）	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和5年10月27日	講演	有	令和5年10月20日	973
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和5年10月30日	講演	15時00分	17時05分	10
				活動時間（分）	115

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/
------	---------------------------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	職員	30人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	知識・経験の不足により窓口のDXに着手できずにいる市町村を支援することを目的に、宮城県として、全国の先進的な取組を学ぶ機会を設ける必要があると考えている。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	市町村に今回の講演を機会に不足している知識等を深めていただくとともに、窓口DXに取り組む意欲の高揚を図るもの。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	窓口DXの先進自治体である浜松市様で導入するに至った経緯、窓口DXの手順・手法、現在の運用状況、導入効果、今後の展望等について講演をいただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容（具体的にご記入下さい）	今回の講演を受け、参加市町村から窓口利用体験調査を行いたいという声や、大変参考となる講演だったという感想などが寄せられていることから、今回の講演を機に、今後県内で窓口DXの取組が広まっていくことを期待する。	

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他
	参加者の意識向上、知識習得など	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	現段階では特になし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
	アンケートを行っておりますが、本様式の提出にアンケート回収が間に合わない状況です。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	③現段階では課題・問題が残っているため未定
事業の最終的な目指す姿		

なお、＜その他＞を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

地域情報化アドバイザー講演会-20231030 0602-1 ↓

